



森町立宮園小学校 学校だより

燦たり宮園

統合52年目

第11号

平成30年10月2日

9 月会礼 学校長の話

今日は掃除について、みんなで考えてみましょう。

どうして掃除をするのでしょうか。みんなも分かっている通り、汚くなった所をきれいにするためですね。では、学校の中で一番汚い所はどこでしょうか。それは、毎日たくさんの人が、おしっこやうんちを流し続けているトイレだと思うのです。

先日、9月16日の日曜日、この宮園小学校を会場に「第11回森町掃除に学ぶ会」が実施されました。総勢50名が、一人1,000円の参加費をわざわざ払って、トイレ掃除に汗を流しました。参加者の中には、皆さんの先輩である旭が丘中学校の生徒さんもいました。宮園小学校からは、教頭先生と私が参加しました。

私は、6人とチームになって2年生の男子トイレを担当しました。蛍光灯や換気扇はもちろん、壁や床もやったし、便器に至っては、奥の奥まで手を突っ込んできれいにしまくりました。2時間かけて、隅々まで掃除しました。

掃除し終わった後には、言葉にできないような満足感や達成感、爽快感を味わうことができました。心まで磨けたように感じました。

この会に何度も参加している方から教わった言葉があります。それは、『掃除とは、きれいを広げること』という言葉です。雑巾で床を拭くと雑巾が黒く汚れます。つまり、拭いた床がきれいになったということです。次に、その横の床を拭きます。すると、きれいになった所が広がりました。このように、きれいを次々に広げていくことが掃除をするということなのだそうです。ごみを一つ拾えば、ひとつだけきれいになるんですね。

宮園小学校の校舎は、今年で51才を迎えました。古くて汚くなってきた所もいっぱいありますが、みんなの手で少しずつでもきれいを広げていけば、気持ちのよい校舎になると思います。これからの掃除では、“きれいを広げる努力”をしてみようではありませんか。

校長先生がお話の中で触れられた「森町掃除に学ぶ会」の代表者の榊原淑友様からお手紙をいただきましたので紹介します。

「森町掃除に学ぶ会」榊原 淑友様からのお手紙

今回のテーマ「きれいを深める」と題して50名の参加者が、それぞれ一生懸命トイレ磨きと心磨きに取り組んでいただき、参加した皆さんがとても感動して帰られました。＜中略＞

掃除に学ぶ会といたしましては、森町の学校からきれいになり、地域が変わり、子どもたちの心が優しく育ってくれることを願うものであります。

4月に行われた学力・学習状況調査の結果

森町立宮園小学校

【学力調査より】

※全国平均値との比較

国語A	国語B	算数A	算数B	理科
ほぼ同じ	やや 下回っている	ほぼ同じ	やや 下回っている	やや 下回っている

<国語>

- 相手がどのように説明しているか捉えることができた。
- 慣用句の意味を理解できた。
- ◆ 主語、述語の関係に注意して文を正しく書くことや、漢字を文の中で正しく使うことが苦手。
- ◆ 複数の資料の中から必要な物や適切な部分を選び、条件に合わせて書くことが苦手。

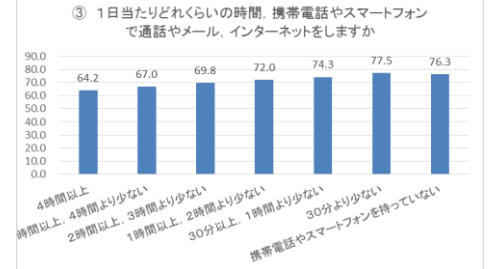
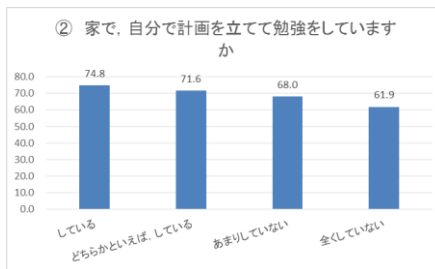
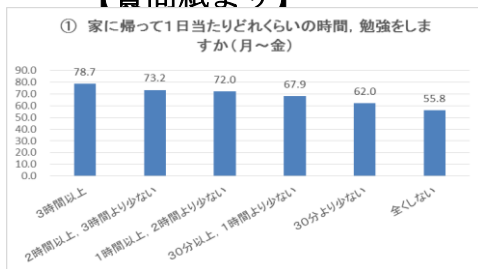
<算数>

- 九九の表を使った問題は、子どもたちには分かりやすく、よくできていた。
- 式を立てたり、答えを求めたりすることはよくできていた。
- ◆ 小数の除法の意味や円周率について十分理解できていない。
- ◆ 考えたことを文章で説明する際、考え方は合っているのに言葉足らず、説明足らずで不正解になってしまう子が多い。

<理科>

- 堆積作用について、科学的な言葉や概念を理解している。
- より妥当な考えをつくりだすために、2つの異なる方法の実験結果を分析して考察できている。
- ◆ 基礎的な知識や技能を活用する問題が苦手である。

【質問紙より】



質問紙と国語Aの正答率のグラフです(全国平均)。①の家庭での学習時間と国語Aの全国結果から、家庭で最低1時間以上の学習時間が必要ということが分かります。本校では、1時間以上学習している児童が多かったです。次に②の家庭で計画的に学習している児童は国語Aの正答率も高くなっています。本校では家庭で計画的に学習することが苦手であると考える児童が多かったです。最後に、③の携帯・スマホの利用時間は30分を境に国語Aの正答率が下がってきます(平成29年度調査)。家庭でのスマホ利用の時間は、学習の結果を大きく左右します。1時間以上使わないなど、家庭でルールを決めましょう。

※平成30年度の質問紙の結果と国語Aの正答率の関係(全国平均)を載せました。他の国語Bや算数でも同様の傾向がありました。③については平成29年度のデータです(平成30年度は未実施項目)。

【課題を改善するために、こんなことに取り組んでいきます】

- よいところを認め、「褒めて伸ばす」ことを大切にするすることで、発表など苦手なことにも挑戦しようという気持ちを育てていきます。
- さらなる授業改善の中で、漢字の読み書きや四則計算など基本的な事柄の定着を図ります。(特に、耳からだけでなく目から入る情報と合わせることで、正しい知識を身に付けることができるようにします。)

【御家庭でお願いしたいこと】

「早寝・早起き・朝ご飯」で生活リズムを整え、「家庭学習のてびき」を利用して、望ましい学習習慣が身に付くよう、御家庭での御協力をお願いいたします。